

## 地理研究シラバス（2単位用）

教科名	科目名	対象学年	単位数	教科書
地歴	地理研究	3年(文系選択)	2単位	「新詳地理B」「新詳高等地図」「COMPLETE2021」帝国書院 「自作プリント」「演習問題」など

### 1. 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 2. 学習計画（3年文系選択A）

学期	月	単元	学習内容	指導のねらい
1 学期	4 (8)	(1)系統地理・地誌の復習	① 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内的営力や外的営力が作用してつくられる大地形にはどのようなものがあるのか、それぞれの地形の特徴について理解する。</li> <li>・ 農業は自然条件の影響を受けることを理解させ、どのような条件下で発達してきたかを理解させる。</li> <li>・ 産業の発達と私たちの暮らしとの関係、それに伴うエネルギー問題・環境問題について理解させる。</li> <li>・ 世界の人口増加の現状について理解させ、各国の現状と対策を確認する。</li> <li>・ 今まで学んだことの総括として各地域の自然・産業・民族・宗教・文化などの違いや特徴について学び、その多様性について理解させる。</li> <li>・ 日本と世界の関係や課題について学ぶ。</li> </ul>
	5 (6)		② 資源と産業	
	6 (8)		③ 人口、都市・村落	
	7 (7)		④ 世界の諸地域① ⑤ 世界の諸地域② ⑥ 世界と日本	
2 学期	9 (9)	(2)技術を磨く	① 時差の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時差を求める基本的なしくみについて理解させる。</li> <li>・ 統計地図の特徴と用途について理解させる。</li> <li>・ 地形図の読み取り方を理解させる。</li> <li>・ 気候の違いを理解し、気候の成り立ちについて考察できる。</li> <li>・ ケッペンの気候区分の分類の指標について理解し、それぞれの気候区の特徴とそこに住む人々の生活の様子を考察させる。</li> <li>・ 統計資料のグラフ化し、その読み取り方を理解させる。</li> <li>・ 経済の発展段階による人口ピラミッドの型の変化について理解させる。</li> <li>・ 三つの指標の相関関係について、経済の発展段階に応じて産業構成が変化することを理解させる。</li> </ul>
	10 (8)		② 統計地図の読み取り方	
			③ 地形図の読図	
	11 (8)	(3)応用力を身につける	④ 気候区分の判定 ⑤ 雨温図・ハイサーグラフの読み取り方 ⑥ 統計資料の読み取り方 ⑦ 分布図の読み取り方 ⑧ 人口ピラミッドの読み取り方 ⑨ 三角グラフの読み取り方	・ 受験に必要な基礎知識・応用力を身につけさせ、各自が自分の進路実現ができるようにする。
3 学期	1 (7)	(3)応用力を身につける	演習問題・課題探求学習①	・ 受験に必要な基礎知識・応用力を身につけさせ、各自が自分の進路実現ができるようにする。
	2 (2)	(4)学習のまとめ	各生徒の進路相談	・ 面接や二次試験に向けた対策を講じる。

月の欄中の（ ）内の数字は月あたりの時間数

### 3. 評価の観点及び趣旨

- ① 関心・意欲・態度  
地理的事象について関心と課題意識をもち、意欲的に追及することを通して国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
- ② 思考・判断  
地理的・地誌的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察するとともに、国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断する。
- ③ 資料活用の技能・表現  
諸資料を吟味して確実なものを選択し活用することを通して地理的事象を考察する力を持ち、自分の言葉で理解したことをまとめることができる。
- ④ 知識・理解  
我が国及び世界の地域的・地理的な特徴についての基本的な事柄について理解し、知識を身につけている。

### 4. 評価の方法及び評価資料

- 日々の授業やプリントのまとめ、宿題・課題などの取り組み状況
- 中間・期末などの定期考査や小テスト
- 定期考査後に提出するファイルの提出状況
- 地理図説や地図帳の積極的な活用

これらを学習過程ごとに設定された学習到達目標に照らし合わせて評価を進める予定。